

高 同窓会だより

第 12 号
平成 2 年 8 月 19 日
静岡県立磐田南高等学校
同 窓 会
印刷 総合印刷(株)大進堂

同窓会総会の 各支部の 充実を思う



同窓会長
村上俊郎

毎日暑い日が続いており
ますが、会員の皆様方には
益々ご健勝のこととおよろ
こび申し上げます。警南同
窓会の運営につきましては
は、日頃何かとご理解ご協
力を賜り、有難く厚く御礼
申し上げます。一路充実の
道を進んでおりますこと
を、大変嬉しく思います。

充実を思う

同窓会長

今後共よろしくお願い致し
ます。昨年は塩谷一夫氏
(元同窓会副会長)、高橋
達也氏(前同窓会長)のお
二人が治療のかいなく病魔
に倒れ、志なげにされて不
幸にも亡くなられました。
国政に、市政に、地域社会
の発展と、住民の幸せのた
めに限らない手腕を發揮さ

伝統の「充実した授業」 をモットーに



校長
杉田 豊

本校に着任し初めての夏
を迎えました。
今春は、大変御尽力を頂
きました校長の脇本亀玖増
先生が勇退されたほか十六
名の教職員が転退職にな
り、新たに十七名の教職員
が着任いたしました。

百十七名と本校開学以来の
大所帯となりましたが、教
職員が一丸となり、伝統と
なっている「充実した授
業」をモットーに、従前以
上に木目の細かな教育活動
の推進に鋭意努力を重ねて
いるところであります。

また、平成元年度末の大学
入試の結果については、別表

の方々のお集りに接し、深
く感動させられました。何
がこんなに総会を盛大にし
ているのだらうと考えさせ
られました。考えた結果、
次のようなことが浮んでき
ました。それはお互いに自
分は見中、警南南高校の卒
業生であるという自覚と、
誇りだと思えます。この自
覚と誇りが縦横の糸となり
絆となって、有形無形の中
に結ばれ団結となって表れ
ているのではないでしよう
か。頼もしい限りでござい
ます。

これから先も同窓会、母
校の益々の発展のために、
たくましく前進しようでは
ありませんか。

次に先年度末日をもって
脇本校長先生が、功成り名
を遂げられて定年退職され
ました。母校の教育本場に
有難うございました。後任
として人格識見共に優れた
杉田豊校長先生を迎えるこ
とになり、四月一日着任さ
れました。県下を代表する

(第八面掲載のとおりであ
りますが、大学入試者の数の
みならず、その質におきま
しても、文字通り静岡県を代
表する実績を取っております。
年々激化する受験戦線に
も拘らず、このような見事
な成果が得られております
のも、一重に同窓の皆様の一
かな御支援、御協力の賜物
と感謝いたしております。

●学校長の プロフィール

今年4月1日に赴任された、
校長杉田豊先生は、本校は二度
目のご勤務で、昭和45年4月
から昭和51年3月まで6年間、
数学の教員として勤務されてい
ます。当時は理数科が設置された
時期で、本校の隆盛期でした。
先生のご経歴は、昭和36年に
静岡大学を卒業。浜松市立高
校を振り出しに、本校、本校
から新設の袋井高校と転勤され
ました。

その後、県教育委員会に入ら
れ、高校教育課指導主事、同課
主席管理主事を経て同課課長補
佐、同課参事になりました。

昭和62年4月には、初代の県
教育委員会青少年課課長、平成
元年4月、西部教育事務所所長
と義務教育にも関係されるなど、
教育行政の主要ポストを
次々と歴任されています。

本校に校長として赴任された
ご感想は、「新しいプールが完
成したり、施設は変ぼうしてい
るが、授業を大切にすること、
教育の基本精神は昔と変らな
い。生徒の活力をどのように発
揮させるかが課題である」と抱
負を述べられています。

温厚な内に教育に対する信念
を秘められた校長で、力強く職
員、生徒をリードし、本校を発
展させていかれることと、信頼
しています。

(教頭・杉野孝雄先生記)

一日十時間の学習に挑戦す
ることは、学習上の効果の
みでなく、永い人生にとっ
てもすばらしい糧となるこ
とと期待しております。

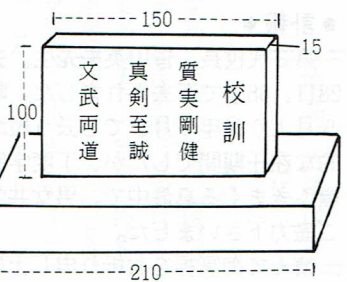
来年八月には、平三総体
が本県で実施されます。本
校は既に水球会場に決定し
ており、連日、生徒諸君の
元気な掛け声が新装なっ
た

本校生徒必携の生徒手帳
の扉には「質実剛健・真剣
至誠・文武両道」の三つが
校訓として掲げられて来た
が、校舎の外外どこにも今
までそれを明示した場所は
なかった。それに着目し校
訓を石に刻し、未永く生徒
に銘記させようとの発想
で、脇本亀玖増前校長が起
案し、本年三月実現した。



●校訓の碑完成

屈指の進学校、見中当時か
らの建学の精神である質実
剛健、真剣至誠、文武両道
の校訓のもとに、より発展
させていただけることを、
ご期待するものでございま
す。



これに先立ち、関係者はこ
れら三つがどの様な趣旨で
制定されたか、創立当時の先
輩諸氏を訪ね、その源泉が初
代尾崎楠馬校長、小田原勇教
頭にあることを確認した。

「学園づくり―勤労作
業による精神と肉体の修養
―社会の荒波に対する抵抗
力の涵養」という見中精
神は「勤労と勉強の両立」
を指し、多くの英才を生
み出し、スポーツにおける
成果も語るまでもない。戦
後、この精神のもとに校訓
設定と発展したのである。
校訓碑の建設に際しては
揮毫は前警田市長の山内克
己氏(中3)が心よく受け
て下さり、石碑の刻字等は
袴田久夫石材店主(高2)
が精魂こめて作製した。
総工費は約百万円、うち
四二万円は本年三月卒業
の、高校第四十二回生が卒
業記念品代として寄贈する
ことになり、不足額は後援
会と共に同窓会からも援助
をして完成されたものであ
る。

三月二日は、生憎の雨模
様であったが、はぐま会館
前に立派な碑が完成し、会
館内で生徒代表も参列し盛
大な除幕の式が行われた。
今後、この碑を見る生徒
達の人間形成の指針となっ
てくれる事を切に期待して
いる。

また、タイは米の国と
思っていたのに、水田は草
だらけ。タイでも米作は採
算が合わないの、水田は
工場用地に売られて行く
という。そう言えば、やたら
と日本企業の大工場が目
につく。
雨の降らない雨期に地球
の異変を実感、そして草原
と化し、白々と乾燥した水
田は、何とも無気味であっ
た。ふと桶ヶ谷沼を思い出
し、あの美しい自然の無事
を心から祈った。



(Y・T記)

●バンコクへ 旅して

七月十二日から十五日ま
で、私はバンコク(タイ)
への旅をした。
バンコクは、雨期とい
うのに日照り続き。パタヤ
ビーチや山田長政で知られ
るアユタヤの遺跡などを見
学した。

一口に言って、こんなす
ばらしい文明が、なぜ西欧
に滅ぼされてしまったの
か、不思議に思い、果ては
怒りさえ覚えた。



松林山古墳の 三角縁神獸鏡

— 鑄造者は誰 —

見中17回卒 西田守夫
いま興味のあるのは、三角縁神獸鏡の鑄造者を調べることです。

この型式の青銅鏡の中には、中国人が作ったのは明らかでない、製作地が中国か日本かが喧しく議論される一帯がある。関東以西の、前期古墳から始りが出土し、三三〇面前後が数えられるが、中国・朝鮮半島では発見されていない。

特徴としては、縁の断面が三角形であり、主な紋様は東王父・西王母などの神仙と、龍虎などの靈獣とが小突起の乳の間に様々に配されている。縁の内側に普通は、複線波紋帯を挟む「鉅齒紋帯」があり、大形鏡で平均して径は二二、三種ほどある。鏡面の反りが強い。

従来、日本の研究者は、小敷意見を別にすると、この鏡式を魏志倭人伝に拠り、卑弥呼の使者が魏帝から親魏倭王の金印や紫綬その他とともに賜わった「銅鏡百枚」に当ててきた。確かにその当時の景初三年(239 A. D.)と正始元年(240 A. D.)の銘をもつ陳氏の作った同向式

(階段式)鏡がある。しかし中国社会科学院考古研究所の王仲殊さんが、呉の工匠が日本に渡って作った鏡だと主張したあと、三角縁がつくことと出土状態とが似ている三角縁盤龍鏡が発掘され、魏の都、洛陽附近で作った鏡なら書かれなければならない、改元された後の、景初四年の銘文が目ざされて、議論が益々ややくしくなってきた。

筆者は製作地を考える前に、主紋様の配置の細かい分類を系統づけたいわけである。三角縁神獸鏡が魏の王室の製作所で鑄造されたにしては、「尚方作鏡」が少なすぎるし、鏡の出来も好くない。それに比べ「陳氏作鏡」は際立って多い。

新目の松林山古墳から出土した此の鏡は、製作者が銘文で誇るように、甚だ「独特」な作り方であり、特に蝦蟇の形の鈕や、龍虎の表現が珍しい。また神像とその傍の小さい靈獣の表現などから考えると、陳氏が作った鏡として恐らく間違いない。

そうならば、陳氏は三角縁をもつ神獸車馬鏡と同向式神獸鏡のほか、四神四(一)獸鏡・三神三獸鏡と靈燼を表したその変形鏡に加えて、二神二獸鏡も作ったことになる。

三角縁神獸鏡は磐田市内だけでも、今までに五面発見され、連福寺古墳からは「張氏作鏡」も出土している。郷里を離れて、この型式の青銅鏡を調べていると、昔の磐田原の初夏が懐かしい。「中国考古」

長生きしよう 昭和一桁生れ

高3回卒 岡本一也

先日当誌編集部より電話があり、同窓会だよりに掲載するから何か書けと云う。もともと文才などあろうはずがない。医学論文なら数多く書いてはいるが少々頭の痛いのが正直なところ。恥をしのんで少し医者の雑学でも。昭和一桁生

れは、早死すると云う医学論文が前に発表されたことがある。なぜ? どうして? 小生考えるに、人生で一番楽しいはずの青春時代を大戦争のため、芋や豆粕、スイートばかり食っていた結果、発育期真最中の肉体的

及び諸肝臓が未熟、おまけに中枢神経(大脳)の発達に不可欠とされるグルコース(糖質)の絶対的不足、栄養失調寸前の体に鞭打つての勤勞奉仕、これじゃあ体にいいわけがない。

我々シルバーエイジがどうしても避けられぬ病気がある。死因第一の悪性腫瘍(がん)、第二の心疾患(心筋梗塞、動脈硬化)、第三の中枢神経疾患(脳梗塞、老人性痴呆)である。

第一のがんであるが近頃初期(六〇才代)の患者が目立つ。とく食物と深い関係にある大腸がん。食事の洋風化嗜好とともに動物性脂肪のとり過ぎが原因とされている。それでは、菜

葉と味噌汁とアジの塩焼でも食べていけばと思うが、そんなものばかり食べていると今度は胃がんになりやすいと云う。要は色々ござらねばならない。第三の中枢神経疾患で最近老人性痴呆が話題になっている。どんな人がボケるのか、頭の良

い人、悪い人、両方ともボケは来る。大脳へ血液を送る血管が動脈硬化をおこすと、脳血液循環不全がくると、その結果ボケが始まる。大脳は神経細胞とそこから出るシナプスと云う物質から出来ている。人間の神経細胞は百四十億個もあるが、普通でも毎日何十万個と云う単位で生理的脱落

をしていく。九十才以上までカクシヤクと生きた人の大脳を調べてみると、神経細胞の脱落や消失は目立つがシナプスはお互いにしっかり結合し連絡し合っている。どうしたらシナプスをしっかり保持出来るだろうか、それは常に神経細胞に刺激を加えることである。

つまり頭を使うことにある。目で見て、耳で聴いて、手で触れてより多くのことに興味をもつことである。ゴルフも結構、ゲートボールも結構、勝負ごと結構、なんとなく退職金と年金でのんびり景色でも眺めつつ暮すとボケは早く来るようだ。

病気をする人、しない人がいる。不思議なことだ。ある偉い医学者によれば内的な要因の違いが大きいと云う。それは恐らく遺伝子が規定しているであろう。二十一世紀の医学は、遺伝子レベル、分子レベルで解明され、遺伝子を調べること

で病気になるやすい人がわかるかも知れない。予知医学と云うか、予測医学と云う学問が間違いなく発展して行くであろう。昭和一桁生まれの同窓の皆様、ボケないで健やかに長生きをしましょう。

(浜松医療センター医療技術局長兼浜松医大講師)



ヤナギラン (アカバナ科) 大善 隆 1989. 8. 17

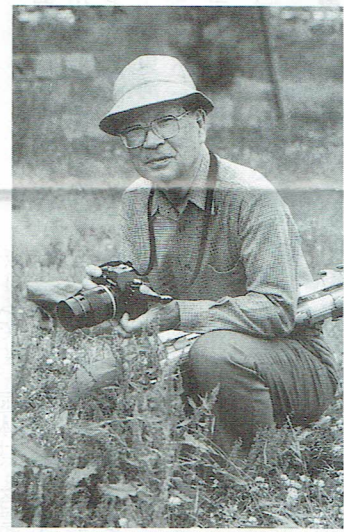
シロヤシオ (ツツジ科) 水窪町大津峠付近 1990. 5. 7



この道 ひとすじ 黒沢先生を訪ねて

五月十九日、雨の土曜日、

私たち編集委員は二番町の黒沢先生宅をお訪ねしました。先生の撮られた植物の写真が壁面を飾る書齋で昭和三十年代と全く変わらぬいとお元氣な先生にお話を伺いました。



先生の発見された植物、教えてください。

先生 イワタカンアオイ、クロサワアザミ(赤石山で発見)、アベトウヒレン(安倍川の奥・キク科)、シダで

名前をつけて頂くという

です。こうしていると色々な人ともめぐりあえますね。草苗を吹く人がきてくれて、ここに立って一曲演奏してくれました。最近も広告屋さんがきてこんな

めるもんですね。遠鉄友の

ロンドンで ギャラリー

高9回卒 小野英子さん



高9回卒の小野英子さん、ロンドン在住二十年近く、写真の「ジャパニーズギャラリー」と云う浮世絵、版画をはじめ、日本の伝統美術品を商う店を任されています。二十数年前、ここに集まる世界の美術品に心惹かれ、好きな絵にかこまれて働ける幸運を得られた由。

然し、三十才過ぎてからの渡航故に言葉には御苦労があったようだが、今は電話の対応も英国人並。磐田市幸町に御両親がおいでになるので年一回は帰

郷なされそうである。「同級の方々への伝言は?」とうかがうと、「身体に自信の持たなくなる年齢に達しました。お互い充分健康に留意しましょう。これが目下一番の切なる思いです。」

大らかで温かい人柄が、店全体にみながっている感じで、今度またお邪魔したいと思つた次第である。因みに店の所在地は、ケンジントンチャーチストリート丁度真中辺66D、ロンドンへおいでの方、一度のぞいてみてください。

郷土の香り

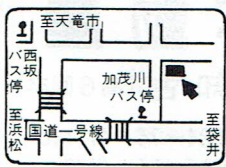
源 伊藤製茶

伊藤裕夫 (高8回卒)

〒438 静岡県磐田市住吉町1512
電話 0538(32)4556

漢方専門

創業安永4年10月
健康に奉仕して200年



ヒサイヤ 久井屋薬局

村松和雄 (高6回卒)

高6回卒 (50音順)

皮膚科 泌尿器科
大橋秀世
浜松市葵町 TEL0534-36-7103
整形外科 金子孝
浜北市横須賀 TEL05358-7-0725
胃腸科 吉田益
磐田市中川町 TEL0538-32-4639

ます 在

躍 ます

ます健

富永宏夫さんのこと

マネージメント情報掲載文から
 在学中から元気の富永宏夫さん(高9回卒)、早大卒業後山一証券に入社されました。入社二年目にして会社倒産、苦しい環境の中で、名古屋・尼ヶ崎・梅田とがんばり、今春取締役昇進しました。

飲むだけの友達もいたけれど、お互いに励ましあい人間的に哲学的に深く追究して生きていこうとした仲間もあり、ジャンルは違っても夢を持って生きてきました。その中の一人が加藤邦彦さん(高7回卒)、ルポライターとして活躍、彼が編集長をしていた「マネージメント情報58」に掲載したのが以下の文です。

●初秋の甲子園

高9回卒 富永宏夫

休日の朝、私は甲子園の周辺を散歩します。球場をおおっているツタは、夏の陽に生き生きと輝いています。

その年の高校野球は池田高校の敗退ですべてが終わってしまったようです。PL高校と横浜商業の決

に「桶ヶ谷沼を考える会」がありました。あそこでもありましたよ。卒業生が偉くなっているもんで僕のこと思い出してくるんですよ。一つことを長くしていたお陰で少しはお役にたつこともできて有難いと思ってるんですよ。

勝戦の日、私はいつものコースで朝の散歩をしていました。甲子園球場のとなり郷に帰る池田高校ナインを見送る人達でいっぱいでした。選手の姿は誰一人目に入りませんでした。監督、篤文の姿は私に強烈な印象を与えました。白髪、日に焼けた顔、太りぎみの体。伏し目がちにマイクロバスにのり込む篤文也のイメージは本物を感じさせるものがあふれていました。この老監督はもの本質を知っている、私は直感しました。

現代の若者が扱いにくくなったのではないと思えます。若者はいつの時代でも扱いにくかったのです。彼らは時代がかわっても、いつも真実を求めているからなのです。彼らは絶対的な本質的なものが欲しいのです。

若者の要求にこたえられないスケールの人間が現代はあまりにもすくなくすぎます。現代社会は虚構の錯綜しているのです。若者が希求しているのは、真実です。篤文也は若者が求める真実を知っている人間だと思えます。篤文也の生き方は

が高校野球を通して、真実な生き方をしているからだと思います。

●総会で講演 同窓生を講師に

提案

我母校も再来年は創立70周年を迎えます。見中時代からの誇らしい伝統のもとに益々発展しつつあり、我々同窓生は磐田地方の文化の中核を担っております。さらに後輩達のめざましいレベルアップにより、全国に磐田南の名を轟かせるようになりました。このような母校の同窓会総会において、国の内外に活躍される同窓生の御話を聴くことを提案します。

例えば毎年、還暦を迎える年次から、広く皆さんに紹介したい方を推薦していただき、講演をうかがうとか、こう云う方が居られると云う紹介だけでも、会員同志の縦横両方の絆を強めることになり、一層豊かな会とすることができると思います。

静かな山里でお月見料理など頂きながら好きな音楽が聴けたら、どんなにすばらしいだろう。そんな素朴な音楽会をひっそりと、森町の町並みを抜けて、県道春野線の暗い山道をたどること約四十分、山会いの闇の中にボツンと灯が見え、そこが森町三倉の私の家。洋間の一室がコンサート会場。一隅にグラランドピアノが一台、絨織を敷きつめた床に座る人、庭のベンチに腰かける人。

午後八時、どこからともなく六十人ほどの人々が集



カタクリ(ユリ科) 水窪町桂山 一九九〇(四二)



シロヤシオ(ツツジ科) 水窪町大津峠付近 一九九〇(五七)



セツランソウ(きんぽうげ科) 佐久間町蒲川 一九八八(一三)

お月見コンサート 北島秀子

高川回卒

まってきた。9月末、夜気はひんやりとして肌心地よい。会場にはなごやかなムードがただよい、その誰彼となく声をかけたくなるくらい気分だ。

今までの演奏者

- フルート 工藤重典夫妻
- リコーダー 吉沢実
- ピオラダガンバ 宇田川貞夫
- チェンバロ 岡田竜之介
- フルート ウィルオッフエルマンズ
- ピアノ 藤谷節子
- 五家さやか
- 渡辺健二
- バイオリン 石川光太郎
- チェロ 佐野穰一
- ギター 中根康美
- リュート 角田隆一夫妻
- 飯草章治とフィーリングバンド



【お月見コンサート】



電話(0538)8610035 周智郡森町三倉一九五三 北島秀子

活して

ぎ、しいたけ、手造りこんにやくのお煮め、栗山菜のふきよせ、おこわ、うずらの卵が月を形どった月見そば、それに飲み物は山もものワイン、バラ酒など。夕食後に陶然として聴くギターとリコーダーの演奏の数々は前にも増して快い。

バロックから「コンドルは飛んでいる」まで進み、果てはNHKドラマ「おしん」のメロディーまで。時には厳しく、時にはふざけながらの演奏は、さすが一流。

夜は更けて演奏会は一段落したものの、まだ去りがたい人達が大勢集まって談笑したり、演奏したり。この夜ばかりは、山の子狸達もさぞやびっくりしたことだろう。

小さな音楽会で大きな感激。こんなホームコンサートを開いてもう十年になる。

現在、私は小学校教師。退職後の夢は、この古い家を生かしながらコンサート等イベントのできるペンションに改装すること。自然と文化の出会いの場として広く利用して頂けたらと考えております。

今年九月三十日(日)の予定です。

【連絡先】
 周智郡森町三倉一九五三
 北島秀子
 電話(0538)8610035

今年の開催予定 9月30日

FOR GOOD COMMUNICATION

中央印刷
 〒438 磐田市見付二番町2426-22
 TEL<0538>32-4094/FAX 35-1269
 堀部 一郎(高8回卒)

SP

鈴木プラスチック工業合資会社
 鈴木 実(高8回卒)
 〒438 静岡県磐田市天竜422の1
 TEL/0538-32-4305
 FAX/0538-37-8255

ロープ各種・土木資材・林業機械、資材

株式会社 梅島ロープ

梅島 壮 氏(高3回卒)
 梅島 利郎(高8回卒)
 磐田市西町607 TEL<0538>32-5178

支部活動

● 磐田支部

磐田支部の平成元年度の総会・懇親会は、衆院選の関係から例年より遅れ、4月21日(土)に磐田市福祉センターを会場に開催しました。年次委員各位のお骨折りにより、今回も200名に近い会員の御参集をいただき、盛会に開催できましたことを心より御礼申し上げます。

母校からは新校長先生をお迎えし、改選を迎えられた神谷 明市長(中12回)がビジョンを語り、改選後初来会の竹山裕参議員(高4回)は、すさまじい逆風選挙戦において、会員諸君の御支援に厚く感謝の辞を述べられ、それぞれに感銘を与えられました。

支部長 龍泉 公 (高1回卒)

● 西部支部

西部支部も竹山裕参議員、塩谷先輩の息子立さんの選挙により一層の団結が出来ました事を報告いたします。

浜北部会は浜北在住の方と浜松市の有志が毎年一月三日曜日に総会を開催し友情を深めて居ります。又浜松在住者、勤務者により昭和25年頃より六日会と名付けた懇親会を開催致して居り去る6月9日には山田俊夫弁護士(高2回)より国土利用計画法の講義を受け法律の勉強を致しました。今後も続けて行く様お願い致して居ります。希望の方は参加下さい。西部支部も若い年次の方々と連絡を密にして、南高校の西部地区のまとまりをはかり団結を

● 静岡支部

日時：平成2年7月5日
会場：...クーパーホール
目的：支部総会と懇親会
毎年一回開催しており、今年も右の次第により同窓の国会議員、県議より政界情報等を拝聴し、また来春の統一地方選挙も話題の一つになりました。

懇親会は会員相互の絆を確かめ合う場です。次回からは同級生同士、是非声をかけあってお誘い合わせ会員一人でも多くお集まり頂くことを希望しております。

平成2年度役員
支部長 袴田哲雄(中19回)
副支部長 池川明雄(高1回)
野末威八(高3回)
鈴木 新(高5回)
大橋徳治(高20回)

● 関東支部

平成2年度現在関東支部掌握会員数は見中1回から南高32回卒までで約1,800名、実在数の8割位でしょう。(33回以後は未確認)

関東地区居住者の内、南高20回卒年齢39歳より若い人達は住居移動が激しく32回卒ではこの5年間で50名中48名が1回以上転居しました。今一番の悩みは若い世代の年次で世話人になり手が少ないことです。何れにしても三年制進学高校でのよき思い出に期待するのは無理です。関東支部では高校時代はお互いに話をしたこともなく記憶もない同窓生同士が集まれる新しい親睦の関係をづくりをテ-

進めて行きたいと思えます。本部の会長さん、役員の方々の御協力をお願い致します。最後に会員の方々の益々のご活躍とお多幸をお祈り申し上げます。

支部長 中川 和夫 (中19回卒)

次年度活動

マにしています。
支部長 平野 二生 (中15回)
事務局長 大石 達朗 (中19回)

● 見中15回卒

昭和16年3月卒の見中15回生には、「卒業アルバム」がない。昭和11年4月、防風堤満開の桜の下、紺がすりの着袴姿の組毎の写真と卒業時交際前に35名の生徒と全職員とが収まったものがあつた。

● 見中16回卒

今年5月20日、7年ぶりの同級会を開きました。返信率83%という好成绩でした。出席者も36名で、曾我道雄先生をお迎えして盛会でした。(写真) 来年度の卒業50周年記念事業に向けての準備を今夏から始める予定です。逝去者が卒業時の約1/3、体調を崩して出席できない友人が増えたことが心残りです。



〔野面燈籠を寄贈〕

「十五年戦争」のまっただ中にあつた(とあとから知れた)五年間を偲ぶよすがとなればと考へている。今は亡き恩師級監、伊藤 恕、西文静、原田茂夫、松原秀樹の諸先生、すでに世界した53名の同期生諸君に捧げる。

また、記念品として、「野面燈籠」一基を母校に寄贈した。5月29日9時、好天の下、玄関前植え込み内に据えつけた。三重桑名名産の自然石を組み合わせた900キロの重厚なもの。母校側から教頭、事務長のお二人、15回生九名が立合った。礎石に「卒業50周年見中15回生」と刻む。

卒業50周年記念に「卒業アルバム」作成を思い立ち、同期生に呼びかけ、母校に残された写真なども活用し、やっと百葉余の写真32頁に編集、この8月発行にこぎつけた。いわゆる

て失つております。運悪く病魔に襲われた刈谷誠子さん、小谷育子さんは御親族の薬石無効にして若い命を無くし、芥川哲男君はしばらく前の早期の交通事故が原因でありました。生死を異にしてから相当の年月が過ぎ去つたが、生きている私達も、亡くなった三人の友も勉学にスポーツに、HRの合い間に多くの思い出を残して来た。思い出そうとしなくても、その友を私達は忘れることは出来ない。三人の友は各々天衣無縫であり、明るく真面目で教室では常にムードメーカーであつたように思い出は。女生徒の少ない教室では明るく女生徒の笑顔や声々はテストや受験勉強につかれた暗い教室のムードをいつも和らげてくれた。6時間目の体育で水泳のあつた後のHRの時は黒髪がまだ濡れていて何とも言葉えぬ清純な色気が漂っていた。今もそれらははっきりと脳裏に浮かび出てくる。

● 高13回卒

10年前に同級生の親睦と同窓会担当のため一三会を結成し、活動してまいりましたが来年は慰霊祭を執り行う年となりました。

母校はぐま会館において今はなき恩師ならびに同級生の遺影を飾り、ご遺族の方々に、恩師ご臨席のもとに霊を慰めたいと考えております。

今後は一三会の活動を中心として組織の確立、運営費の調達、ご遺族、同級生への連絡等、準備を進めてまいります。同級生の皆様をはじめ諸先輩方のご協力、ご指導のもとに任務を無事終えたいと考えております。

一声かかりましたら同級生全員のご参集を期待しております。

● 高21回卒

(64回総会担当)
第64回同窓会総会担当
高校21回代表幹事

「君が名を 仄かに呼びて 泪せし 十五の春に 帰る術なし」 啄木

いい年をしてロマンチックな事をと笑われそうですが不惑の40才にとどかんとする私共にとつての高校時代は、遙か昔とは云えず、またつい最近の鮮烈な思い出と云うわけでもありません。最初に記した啄木の詩に私共高校21回生の想いを込めて本年度はノスタルジックに同窓会総会を企画致しました。又トータルイメージの版画は同窓の白井君の作品です。

3年ほど前、総会担当準備を兼ねて同窓会を開催したところ出席の友人の一人から次の様な礼状をもらいました。「.....それにしても同窓会というのは、

誠に不思議な集いでありませぬ。相手は17年の歳月を間違ひなく生きて居るはずなのに、おかしなもので17年の空白を飛び越えて学生時代の顔とキャラクターを照写しつづつ話をする。男性はそろそろ腹が出はじめ、女性はある学生時代の甘露な香りはありません。しかし私共は自分の事は棚に上げて異性には若さを求めます。誠におかしな年代といえます。.....云いて妙でありました。

● 高22回卒

私共高校22回卒の同期生も、平成3年度に同窓会総会の当番年次を控へ、その名も二二会(にいにい)と名付け活動をしております。

私共の高校生活の最後の年であつた昭和44年は、現在の鉄筋校舎の増築が完成し南高の装いが一新した年でした。また、アポロ11号の月着陸船イーグルが「静かの基地」に降り人類が初めて月に到達した7月21日に、我が南高は浜松球場の甲子園大会予選に於いて大応援の中、袋井商高を8対3と大破したのも鮮明な印象となつて残っております。

それから、20年の歳月が過ぎ、南高のたたずまいも増々立派なものとなり、平成3年度の高校総体開催、平成4年度の高70周年を控え、文武両道にわたり隆盛の一途を辿っていることは私共の誇りです。

そして、この南高の歴史の一端を同窓会というかたちで支えるため、総会に向け明るさと意外性をモットーに準備をしております。

来年に向け、同窓会員皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



見中16回生写真

● 高12回卒

(本年度慰霊祭担当)
本年度の慰霊祭は私共が担当させて頂きます。私共は三人の同窓生を年若くし

創造・挑戦・融合
21世紀を切り拓く
株式会社ヤザキ
取締役社長 矢崎博義 (高8回卒)
〒438 磐田市西貝塚3769
TEL 0538(34)8111(代表)

総合広告代理店
日広企画株式会社
代表取締役 鈴木治男 (高8回卒)
〒432 浜松市鴨江3-68-8 (アサヒ開発ビル2F)
☎0534<53>7039代 FAX.<56>0791

肥料・農薬・プロパン
豊田肥料株式会社
豊田晴義 (高8回卒)
袋井市高尾1202の1
TEL/0538-42-4111

OB文庫へ寄贈を

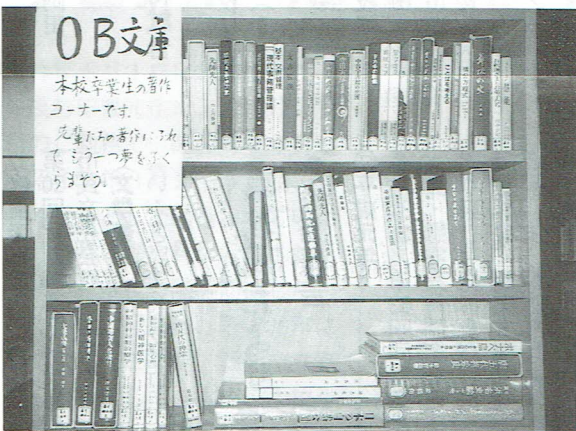
63年の秋、磐田南高図書館の一角にOB文庫コーナーを設けました。各界で活躍されている磐南OBの方たちの著作を一堂に集めて生徒たちに関覧させることにしたのです。平成2年5月現在で、ご寄贈いただいた本が91冊になりました。在校生たちは、先輩たちのご活躍の一端にふれ、将来への夢をふくらませています。つきましては、専門書、趣味の本等、どの分野の著作でも結構ですから、是非OB文庫にご寄贈をお願いしたいと思います。

【送り先】〒438 磐田市見付3084(☎0538-32-7286)
静岡県立磐田南高等学校図書館OB文庫係

▶平成元年4月以降寄贈書

(敬称略)

- 「つはもの」〔佐野 博(中8)遺稿集〕
- 「ドカ中の群像」
〔柴田岳夫・伊藤英一・鈴木唯一(中11)他編〕
- 「霊島金華山」〔内藤俊彦(高10)他著〕
- 「日本の自然公園」〔内藤俊彦(高10)他著〕
- 「精神科診断治療学」〔十束支朗(高2)他著〕
- 「新しい精神医学」〔十束支朗(高2)著〕
- 「精神衛生・臨床心理学」〔十束支朗(高2)他著〕
- 「児童精神衛生入門」〔十束支朗(高2)他著〕
- 「実地医療のための老年期精神障害」〔十束支朗(高2)編〕
- 「大乘仏典11・敦煌II」〔田中良昭(高3)他訳〕
- 「佐鳴湖の自然」〔田中亮三(中7)著〕
- 「磐田の新田開発」〔鈴木小英(高5)著〕
- 「半導体デバイス」〔長谷川文夫(高11)他訳〕
- 「体験しよう日本の文化」〔岡本登美(高6)他著〕



OB文庫に寄贈された本が、KEEK国際交流会の編著になるもので、その一員である高6回卒の岡本登美さんからです。内容は

1. 伝統文化
2. 年内行事
3. 日本の味覚
4. 子供の遊び

と多岐にわたり、外国人に日本の身近な生活や伝統文化を理解していただくため

「体験しよう日本の文化」

この「手引書」として、日英両語で書かれております。世は国際交流重視の時代、日本を訪れる外国人、また外国へ出掛けて行った時、我々日本人を正しくより深く理解していただくのに大いに役立つと思います。一度手にとられたら、きっとこれなくして渡航できないとまで思われることでしょう。関心のある方はどうぞ左記に御連絡下さい。

☎ 0538-32-8606
磐田市御殿 佐藤富美様

平成元年度同窓会財政収支内訳書

平成元年4月1日～平成2年3月31日

収 入			支 出		
項 目	金 額(円)	備 考	項 目	金 額(円)	備 考
同窓会入会金	1,632,000	平成元年度卒業生納入金	会務費	1,191,185	評議委員会・役員会費用 総会助成、慰霊祭供物料等 支部総会祝儀・年次運営費等
同上終身会費	1,632,000		・会議費	192,510	
預 金 利 息	507,229	定期預金・普通預金より	・総会・慰霊祭費	292,706	
寄 付 金	100,000	高1回10万円	・支部総会・年次運営費	229,200	
雑 収 入	243,000	広告代等	・慶弔費	328,620	恩師・同窓生・現職員への慶弔 通信・事務費 事務局費・交通費等
繰 越 金	924,865	元年度より	・事務費	106,149	
年次拠出金	625,000		・事務局費	42,000	
合 計	5,664,094		事業費	1,613,953	文鎮 第11号同窓会だより印刷郵送費 在校生への奨励、奨励費 コンピュータへ卒業生新規入力
同窓会財産			・はぐま会助成	70,000	
定期預金	12,670,000円	利息は	・卒業記念品代	180,868	
磐信出資金	1,000,000円	一般会計へ	・会報発行費	986,207	
定期預金	28,709,177円	リレー定期	・教育振興費	138,025	
合 計	42,379,177円		・名簿関係費	238,853	
			定期預金	1,932,000	1部定期利息はこの会計へ
			予備費	205,000	校訓碑建設 同窓会負担分
			繰越金	721,956	平成2年度へ
			合 計	5,664,094	

平成2年度同窓会財政予算収支内訳書

平成2年4月1日～平成3年3月31日

収 入			支 出		
項 目	金 額(円)	備 考	項 目	金 額(円)	備 考
同窓会入会金	1,684,000	元年度卒 421人	会務費	1,550,000	評議委員会・役員会費用 総会助成、慰霊祭供物料等 支部総会祝儀・年次運営費等
同上終身会費	1,684,000	4,000円と4,000円	・会議費	200,000	
預 金 利 息	1,320,044	定期預金・普通預金より	・総会・慰霊祭費	300,000	
寄 付 金	100,000	卒業40周年記念事業	・支部総会・年次運営費	250,000	
雑 収 入	250,000	広告代等	・慶弔費	230,000	恩師・同窓生・現職員への慶弔 通信・事務費 事務局費・交通費等
繰 越 金	721,956	元年度より	・事務費	120,000	
年次拠出金	0		・事務局費	450,000	
合 計	5,760,000		事業費	1,970,000	文鎮 第12号同窓会だより印刷郵送費 在校生への奨励、奨励費 2年度版名簿発行関係費 上記に属さない事業費
平成2年度 役員構成			・はぐま会助成	70,000	
会長	村上俊郎(中15回)		・卒業記念品代	200,000	
副会長	高田要三(中18回)		・会報発行費	1,200,000	
	加藤喜一郎(高1回)		・教育振興費	200,000	
	鈴木多門(高4回)		・名簿関係費	200,000	
	竹内芳子(高6回)		・諸 費	100,000	
	井口君夫(高10回)		定期預金	1,984,000	終身会費等積み立て
	白井清子(高13回)		予備費	258,000	
監査	大橋充雄(中18回)		合 計	5,760,000	各科目間の流用を認める
	杉村泰弘(高5回)				

平成2年度 役員構成

- 会長 村上俊郎(中15回)
- 副会長 高田要三(中18回)
- 加藤喜一郎(高1回)
- 鈴木多門(高4回)
- 竹内芳子(高6回)
- 井口君夫(高10回)
- 白井清子(高13回)
- 監査 大橋充雄(中18回)
- 杉村泰弘(高5回)

表題は、いかめしい感じですが、老年期の特性からときおこし、老年期に起る心の病気とその治療、介護の方法までを執筆者各々の専門

図書紹介

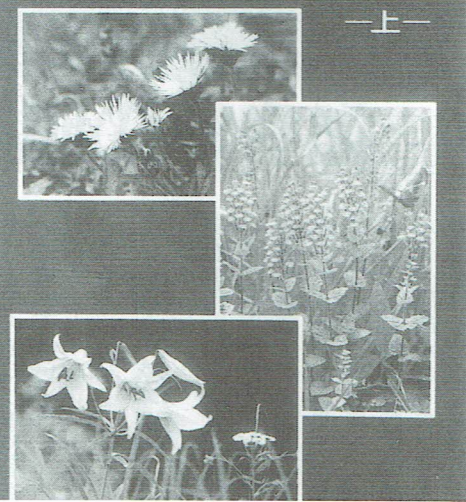
「実地医療のための老年期精神障害」

編者の十束支朗氏(高2回)は、山形大学教授として臨床精神神経学、精神衛生学、心身医学臨床神経病理学等の分野で研究を進めておられます。

この5月30日交通事故のため不慮の死を遂げられた氏の愛娘によるものです。広く皆様に読んでいただき活用されることで、理不尽な死の悲しみをのりこえて今後一層研究に励み、よい仕事をされることと思っております。

最後に亡弥生さんの御冥福を祈ります。

静岡県の植物図鑑



静岡県の植物図鑑(上)が今年の四月に発行されました。この図鑑は杉野孝雄(現磐田南高教頭)、黒沢美房、清水通明(現浜松工業高校教頭)、清水秀明先生(息子)、いずれも母校ゆかり御三方の共著。

県内三千六百余種の種子植物の内、普通に見られる草花、樹木を上巻に百六十五種、下巻で百五十八種に

静岡県の植物図鑑(下)も七月に発行されました。

鋳螺、機械加工一式

(株)三和商会

伊達力也(高9回卒)

本社 浜北市小松4301の5
磐田工場 磐田郡豊田町一言3175
TEL/0538-35-6208

和洋酒・贈答品

寺井酒店

寺井信男(高9回卒)

福田町福田2105
TEL/0120-13-2660(フリー)
0538-55-2660

鰻蒲焼即売、地方発送常時受付

中遠養鰻漁業協同組合

組合長 寺田臣男(高9回卒)

静岡県磐田郡福田町福田5498-21
TEL/0538-58-1515(代)
FAX/0538-58-1515

平成元年・2年進路状況

(数字は現・浪合計合格者延人数)

国立大学	元年	2年	静岡県立	20	8
北海道	7	7	その他	2	27
秋田	1	1	公立大計	36	201
東北	8	6	国公立大合計	219	201
山形	3	1			
茨城	3	5	私立大学	元年	2年
筑波	5	5	青山学院	16	13
群馬	2	3	大妻女子	5	2
埼玉	4	3	学習女子	1	6
千葉	6	3	共立女子	7	12
東京	3	5	慶応義塾	10	13
東京外国語		2	工学院	2	4
東京学芸	5	5	国学院	3	7
東京農工		2	国際基督教	6	7
東京工業	3	5	駒沢女子	5	3
お茶の水女子	1	4	実践女子	9	9
電気通信	1	5	芝浦工業	5	6
一橋	1	2	上智	5	2
横浜国立	4	7	昭和女子	1	1
新潟	2	9	成蹊	4	5
富山	1	2	成城	27	12
富山医科薬科	1	1	専修	7	11
金沢	10	1	大東文化	4	3
福井医科	2	1	玉川	23	19
山梨	6	2	中央	1	1
信州	7	9	津田塾	10	9
岐阜	2	1	東海	7	7
浜松医科	5	2	東京経済	1	5
名古屋	14	8	東京女子	4	9
愛知教育	3	1	東京電機	5	8
名古屋工業	3	3	東京農業	7	20
三重	2	3	東京理	12	11
滋賀	1	1	東洋	33	42
京都	4	1	日本女子	6	9
京都教育	2	1	法政	24	23
大阪	2	4	武蔵工業	7	6
大阪外国語	1	1	明治	32	38
神戸	3	1	明治学	13	11
奈良教育	2	2	立教	14	11
鳥取	2	3	早稲田	16	39
島根	1	1	神奈川	18	20
岡山	2	1	神奈川工	6	8
広島	3	2	知学院	3	8
山口	1	1	愛知学	4	12
高知	1	1	愛知工	12	12
高知医科		1	名古屋女	2	4
九州工業		1	南山	6	5
大分	1	1	名城	7	11
長崎	1	1	京都外	4	2
宮崎	42	34	京都産	3	3
静岡	13	174	京都女	7	4
その他			同志社	17	13
国立大計	183	174	同志社女	3	3
公立大学	元年	2年	立命館	29	25
釧路公立	1	2	関西学	17	12
高崎経済		3	関西学	2	2
高崎都立	2	3	その他	108	126
東横市立	4	2	私立大計	592	657
横留文科	5	5			
都留文		1			
愛知県立		2	国立短大	8	8
京都府立		2	公立短大	17	25
京都府立		1			
大阪府立		1			

部活動の状況

(野球部)
 ●春・西部大会 4位
 ●県大会 1回戦 1-4 静岡東
 ●夏・県予選大会 2回戦 2-5 富士宮北
(陸上部)
 ●西部大会
 男子四百mリレー 1位
 男子千六百mリレー 2位
 男子二百m 大橋 1位
 男子四百m 大橋 1位
 男子二百m 井指 4位
 女子二百m 石川 3位
 女子四百m 石川 3位
 トラック 3位
 総合 5位
 男子四百mリレー 3位

※以上の四種目は、いずれも東海大会へ出場。
 ●東海大会 男子四百mリレー (大橋佐智夫・竹井嘉樹・村松芳郎・井指大介・補欠・兼子夏樹・細井文明) 第5位
 ●全国高校総体出場 女子二百m (石川由紀子) 第5位
 ●国高校総体出場 女子四百m (石川由紀子) 第5位
 ●国高校総体出場 (男子バドミントン部) 第4位
 ●西部大会 シングルス 1位
 ●県大会 ダブルス 1位
 ●団体戦 優勝

※県大会に出場
 ●剣道部 西部大会 6位
 ●県大会 一回戦 3-2 静岡 二回戦 2-3 日大三島
 ●柔道部 西部大会 個人戦 窪野 4回戦進出
 ●県大会 一回戦 1-4 星陵
 ●男子テニス部 西部大会 シングルス 小池 ベスト16
 ●水球部 水球競技大会 本校22-0 藤枝東
 ●サッカー部 西部大会 6位
 ●県大会 一回戦 1-4 藤枝東
 ●弓道部 西部大会 予選トーナメント 本校11-7 四日市南
 ●東海大会 決勝リーグ 本校8-19 名古屋学院 本校8-21 四日市中央工業 本校5-8 新川

●吹奏楽部 第20回定期演奏会・於磐田市民文化会館(3月24日) 『いぶき』第46号発行

●今年度の当番年次 卒業10年会 高31回
 新年次委員選出 卒業20年会 高21回
 総会当番年次 卒業30年会 高12回生
 慰霊祭当番年次 卒業40年会 高2回生
 資金作り同窓会へ寄附 卒業50年会 見中15回生
 記念行事・灯籠寄贈



●女子テニス部 シングルス 岡田 ベスト32
 ●はぐま祭招待試合 (水球部) 京都・鴨派高校に惜敗 (9-10)
 ●水球部 水球競技大会 本校22-0 藤枝東
 ●サッカー部 本校22-0 島田 本校15-0 掛川西 第1位で東海大会へ
 ●東海大会 予選トーナメント 本校11-7 四日市南
 ●西大会 決勝リーグ 本校8-19 名古屋学院 本校8-21 四日市中央工業 本校5-8 新川

事務局だより

◎平成元年

8月20日 第63回同窓会総会・慰霊祭・同窓会だより第11号発行及び郵送
 11月11日 関東支部総会
 12月4日 高橋達也前会長ご逝去 午後3時40分
 12月7日 同窓会役員会
 12月12日 高橋前会長ご葬儀 午後1時より (見付西光寺にて)

◎平成二年

1月27日 同窓会顧問会
 2月14日 評議員会 同窓会役員構成について
 2月21日 同窓会役員会
 3月22日 校訓除幕式
 3月22日 評議員・役員会懇親会(一年に一回)
 4月21日 磐田支部総会
 4月23日 役員選考委員会
 5月31日 同窓会会計監査・財務委員会
 6月14日 役員会と高21回生幹事と総会の打ち合せ
 7月5日 静岡支部総会

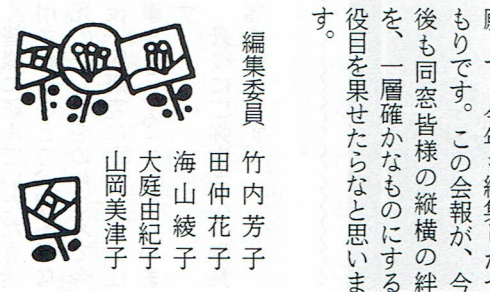
7月7日 評議員会
 8月19日 第64回同窓会総会・磐田グラントホテル、慰霊祭、同窓会だより第12号発行

●事務局長より
 元年度は、何と云いましても前会長のご逝去、大変悲しいことでした。「同窓会だより11号」のご挨拶が絶筆となりました。同窓会への長い間のご尽力・ご功績に深く感謝致し、ご冥福をお祈りします。
 年度末の異動で脇本龜玖増前校長は、定年退職され、浜松のオイスカ高校に勤められることになりました。後任には新進気鋭の杉田豊校長が赴任されました。先生は昭和45年から51年まで6年間本校に勤務されたご経験があり、本校への再度のお勤めで、私たちも期待しています。
 校内幹事では、大橋由布治・松島祥一・山下真里・伊藤律夫・大橋和子の五氏がそれぞれ転退職され、新たに池谷實(高3回)・中村修(高5回)・村松典子(高23回)の三先生が転入されました。
 平成二年度は、同窓会名簿発行の年です。昨年8月より静岡放送KK・SBS情報システム局に依頼して、調査準備を進めております。住所判明率は、96・88%となり、大変確度の高い名簿と思います。注文字も四五〇〇部程いただきました。調査に長い期間を要し、発行が遅いとお叱りを受けます。誠に申し訳ありませんが、この十月下旬郵送する予定です。今暫くお待ちをお願いします。また年次毎、地区別の名簿ラベル等も簡単にできますので、ご用の節は、事務局までご連絡下さい。

編集後記

昨年暮、会長が逝去されるという不幸がありました。同窓の輪はさらに大きくと願って、今年も編集したつもりです。この会報が、今後も同窓皆様の縦横の絆を、一層確かなものにする役目を果たせたらと思います。

編集委員 竹内芳子 田仲花子 海山綾子 大庭由紀子 山岡美津子



ヘルシー愛ランド
ハッピー
 浜松市天王町1982 ☎(0534)65-7111代

ファッションクリーニング
(有)しみす
 清水当司 (高9回卒)
 清水康宏 (〃35回卒)
 袋井市有楽通・TEL43-2425
 フリーダイヤル 0120-43-2425

タイヤの御用命は
 浜松タイヤセンター(株)へ
 “キーバンチャー募集!!”
(株)ミツコムテクニクス
 桜井克己 (高9回卒)
 浜松市篠ヶ瀬町1083
 TEL/(0534)64-2233